

わかもの かいぎ
こども・若者会議
しんぶん

No. 6
2025年
1月17日発行



だい かい
第8回
12/27(金)

わかもの かいぎ さいしゅうかい
こども・若者会議最終回を
かいさい
開催しました！

だい かい
第8回は、「お疲れ様でしたの会」。
こども・若者会議は7月から12月まで「みんなが幸せなまち」の
実現に向けて、活動を行ってきました。
今回の最終回では、約半年間の活動の振り返りを行いました。



いつものアイスブレイクからスタート！

アイスブレイクの後^{あと}は、
「こわか☆クリーンアップwith」を開催^{かいさい}したうきうき！あまとうチーム、
「仙台^{せんだい}こわかフェスティバル」を開催^{かいさい}したワッショイこわか人^{じん}チームに
分かれて、こども・若者会議^{わかものかいぎ}の振り返り^{ふりかえ}として、

KPT (Keep (継続^{けいぞく})・Problem (問題^{もんだい})・Try (挑戦^{ちょうせん}))

を用いたグループワーク^{あこな}を行いました。

ゴミ拾いイベント「こわか☆クリーンアップwith」を主催^{しゅさい}した うきうき！あまとうチームの振り返り^{ふりかえ}

※「こわか☆クリーンアップwith」の当日^{とうじつ}の詳しい様子^{ようす}は、
「こども・若者会議^{わかものかいぎ}しんぶん第4号^{だいごう}」をご覧ください！

Keep (継続^{けいぞく}) …良かったところ、続けた方がよいことなど

- 年齢関係^{ねんれいかんけい}なく対等^{たいとう}な関係^{かんけい}を築^{きづ}けたこと
- 一人^{ひとり}ひとりが安心^{あんしん}して意見^{いけん}を言^いえる場所^{ばしょ}にすること
- 計画^{けいかく}どまりじゃなくて、実際^{じっさい}に企画^{きかく}をして行動^{こうどう}できた！

Problem (問題^{もんだい}) …問題^{もんだい}だったところ、改善^{かいぜん}するところなど

- 企画^{きかく}の準備^{じゅんび}期間^{きかん}が短^{みじか}かった
- 告知^{こくち}の期間^{きかん}の短^{みじか}さ
- 参加者^{さんかしゃ}の数が少^{すく}なかったこと

Try (挑戦^{ちょうせん}) …Keepをさらによくするアイデア、Problemを具体的^{くたいてき}によくするアイデア
次にチャレンジ^{つぎ}したいこと

- よりこども主体^{しゅたい}、こども中心^{ちゅうしん}の企画^{きかく}作り
- エコパックン(手作り^{てづく}ゴミ箱^{ぼこ})を広^{ひろ}める
- こども・若者^{わかもの}のための居場所^{いばしょ}づくり



「こわか☆クリーンアップwith」
当日の様子



子どもたちのおまつり「仙台こわかフェスティバル」を主催した ワッショイこわか人チームの振り返り

※「仙台こわかフェスティバル」の当日の詳しい様子は、「こども・若者会議しんぶん第5号」をご覧ください！



「仙台こわかフェスティバル」
当日の様子

Keep (継続) …良かったところ、続けた方がよいことなど

- 一人ひとりが自分の意見を持つことが出来た
- 自分たちのやりたいことを実践する機会を得られたこと
- みんなで協力して一つのことを達成できたこと！

Problem (問題) …問題だったところ、改善するところなど

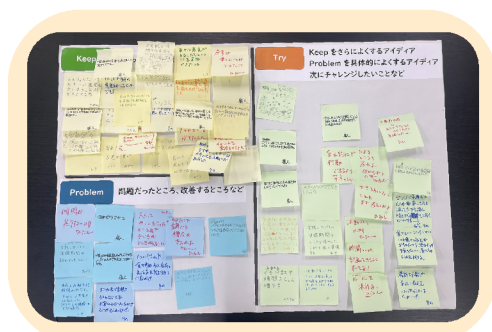
- 実践に向けての準備期間が短かったかも？
- 自分たちで調べる機会が少なかったかな…？
- 事前に広報をする時間が足りず、十分に人を集められなかった

Try (挑戦) …Keepをさらによくするアイデア、Problemを具体的によくするアイデア
次にチャレンジしたいこと

- 似たような活動をしている所と協力して大きな事をする
- 計画をきちんと立てる！
- 「こども・若者会議」の知名度を上げる活動をする



各チーム、一人ひとりの想いを付箋に書き、発表しました。
他のメンバーの発表にうなずきながら、意見を交わしました。



メンバーごとの振り返り

チームでの振り返りの後は、個人ごとに振り返りを行いました。

こども・若者会議を通して、こうなりたい！もしくは、参加前はこんな自分だった

- なかなか年上に話せなく、自分が思う意見を言えなかった
- イベント等に参加するのは好きだったけど、自分から何かを提案するのが苦手だった
- 計画したことを実行できるようになる



こども・若者会議に参加して自分の成長や変化は？

- 自分から進んで意見を出せるようになった
- 他の人のことを考えられるようになった
- 人とのつながりがふえた！自分に自信がついた！！



この経験を今後、どのように生かしたいか？

- 積極的にコミュニケーションをとって、お互いを信頼する
- 自分の意見を言う時に進んで意見を言えるようにしたい
- 考え方を学んだから、「自分で考えること」を増やしたい



「みんなが幸せなまち」のために自分ができることは？

- まずは自分が幸せに！幸せは伝染していく
- まずは身近な人を幸せにするために手伝いをしたりする
- 1日何か1つ以上良いことをする！1年やれば365回！
- 自分からどんどんいく、暗い雰囲気を出さない、笑顔でいる



こども・若者会議の参加前の自分を思い出しながら、書き進めるメンバーたち

会議の後半には、郡和子仙台市長に来ていただきました。
 市長の前で、チームごと・個人ごとの振り返りを発表する貴重な、
 でも少し緊張してしまいそうな機会でしたが、
 積極的に手を挙げるメンバーが続々！
 自分の思いを自分の言葉で伝えることは大切なこと。
 それを実践できていることに成長を感じました。



郡市長への質問タイム



発表の後は、市長とのフリートーク！

メンバーは市長に聞いてみたいことがたくさん。

好きな動物、フルーツは何ですか？休みの日は何をしていますか？
 市長の仕事のやりがいは何ですか？いつもどこで仕事をしていますか？

どんな仙台市にしたいですか？など、色々な質問がありました。

普段は聞くことが出来ないようなお話を聞くことが出来ました。

最後に市長から、メンバーへの応援メッセージをいただきました。

郡市長、ありがとうございました！





れいわ ねんど わかもの かいぎ がつ やくほんとしかん ぜん かいさい
 令和6年度のこども・若者会議は、7月から約半年間、全8回開催しました。
 今年度の1期生は小学4年生から高校2年生までの20名。「みんなが幸せなまち」の
 実現に向けて、ごみ拾いイベント「こわか☆クリーンアップwith」、こどもたちの
 おまつり「仙台こわかフェスティバル」の2つのプロジェクトを企画・実行しました。

こども・若者会議は「こどもたちが安心して意見を言える場所にしたい」という
 おもいで運営してきました。メンバー一人ひとりが会議の中で意見を伝え合い、
 成長した姿が見られて、私たちスタッフもうれしく思います。これからもメンバーのみな
 さんには、ぜひこども・若者会議で感じたことを生かして、「自分にもできるんだ」
 という自信を持ち、主体的に考えて行動して欲しいと思います。

こども・若者会議を応援してくださったみなさま、本当にありがとうございました。

メンバーの ふりかえり

あなたにとって、「こども・若者会議」は
どのような場所でしたか？

- 自分がありのままでいて、大切な仲間と交流できる、最高の場所です！
- おたがいの意見をみとめ合える場所
- 自分の意見をしんげんに聞いてくれる場所
- めっっっっっちゃ楽しい場所！
- かけがえのない仲間と一人ひとり意見を出し合い計画を成功させることのできる素敵な場所！！

あ と が き

みなさんと一緒に活動できて、
とっても嬉しかったです。
「みんなが幸せなまち」という
「こわか山（こども・若者会議山）」
の頂上に向かい、協力しながら自分
の意見を大切にして登ることが
できましたね！
約半年間、本当にお疲れさま
でした♪

by とま